

衆議院予算委員会ニュース

平成 30. 2. 22 第 196 回国会第 16 号

2 月 22 日（木）、第 16 回の委員会が開かれました。

1 平成 30 年度一般会計予算

平成 30 年度特別会計予算

平成 30 年度政府関係機関予算

- ・麻生財務大臣、林文部科学大臣、加藤厚生労働大臣、齋藤農林水産大臣、石井国土交通大臣、吉野国務大臣、小此木国務大臣、松山国務大臣、茂木国務大臣、梶山国務大臣、あかま内閣府副大臣、佐藤外務副大臣及び政府参考人に質疑を行いました。
- ・働き方改革等について、安倍内閣総理大臣、林文部科学大臣、加藤厚生労働大臣、齋藤農林水産大臣、世耕経済産業大臣、石井国土交通大臣及び政府参考人に集中審議を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

（一般的質疑）

橘慶一郎君（自民）

- ・福島県産農産品の風評被害の払拭に向けた今後の取組方針について、吉野復興大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 30 年産から米の生産調整が廃止されることを踏まえ、作付面積の動向及び過剰作付への対応策を伺いたい。
- ・司法試験を不合格になった法科大学院修了者について、身に付けた知識を生かせる法曹以外のキャリアにつなげる支援が必要だと考えるが、林文部科学大臣の見解を伺いたい。

岡本あき子君（立憲）

- ・今国会提出予定の働き方改革関連法案に関し、裁量労働制拡大の実施時期を一年間延期するとの報道の事実関係について、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・裁量労働制拡大に反対する過労死遺族と面会し、直接意見を聴くべきだと考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・平成 25 年度労働時間等実態調査のデータの信憑性が担保されない限り、働き方改革の議論を進めるべきではないと考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

柚木道義君（希望）

- ・国民の知る権利の担保及び我が国報道の自由度ランキングを上げるために会見室での会見回数を増やすべきと考えるが、麻生財務大臣に見解を伺いたい。
- ・今国会に提出予定の働き方改革関連法案に関して、裁

量労働制の対象職種の拡大の実施時期を 1 年延期するとの報道があったが、政府内で延期を検討しているのか、加藤厚生労働大臣に伺いたい。

- ・不適切なデータに基づいて作成した資料をもとに決定した裁量労働制の対象職種の拡大を撤回し、労働政策審議会に議論を差し戻す必要があるのではないか。

金子恵美君（無会）

- ・旧優生保護法による障がい者に対する人権侵害について、どのように回復していくのか、松山国務大臣に伺いたい。
- ・障がい者と共に生きる社会を目指すうえで、心のバリアフリー化を進めていく必要があると考えるが、石井国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・子ども・子育て支援法改正案には待機児童対策協議会の設置が盛り込まれているが、同協議会では保育士配置基準の緩和が協議されることになるのか。同基準が緩和されると保育士の負担が増え、保育の質が低下すると考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

藤野保史君（共産）

- ・今冬の豪雪被害に関し、早急に市町村道の除雪費支援を行うべきと考えるが、石井国土交通大臣の見解を伺いたい。
- ・豪雪による農業用ビニールハウス被害に対する国からの復旧支援を強化する必要性について、齋藤農林水産大臣の見解を伺いたい。

井上英孝君（維新）

- ・社会保障の安定財源が確保されたものの、2020 年度

基礎的財政収支黒字化目標の達成が先送りされたことで、社会保障・税の一体改革は破たんしていると言わざるを得ないが、茂木国務大臣の見解を伺いたい。

(集中審議)

宮下一郎君 (自民)

- ・ 裁量労働制の不適切な運用の是正が重要と考えるが、過剰労働を防ぐ監督体制の強化や相談体制の充実等について、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・ 人手不足等に悩む中小企業における働き方改革について、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。
- ・ 介護・医療分野における働き方改革への取組について加藤厚生労働大臣に伺いたい。

佐藤茂樹君 (公明)

- ・ 働き方改革を進める意義と目的について、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 勤務間インターバル制度の意義及び導入の促進に向けた施策について伺いたい。
- ・ 罰則付きの時間外労働規制においては正確な実労働時間を把握することが重要であるため、ガイドラインではなく法令により実労働時間の把握を義務付けるべきではないか。

山尾志桜里君 (立憲)

- ・ 政府は2020年までに32万人分の保育の受け皿整備を進めるとしているが、必要な整備量を32万人と推計した根拠を伺いたい。
- ・ 幼児教育の無償化は、2020年までに32万人分の保育の受け皿整備が必要とする現在の政府推計に影響を与えるのではないか。
- ・ 第9条第2項を維持しつつ自衛隊の存在を明記する憲法改正案では、自衛隊の合憲性についての議論の余地をなくすことはできないと考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。

逢坂誠二君 (立憲)

- ・ 働き方改革関連法案について、国会への提出を取りやめるつもりはないのか、加藤厚生労働大臣に伺いたい。
- ・ (独)労働政策研究・研修機構に調査を依頼した労働時間のデータが実際には労働政策審議会に提出されなかった理由について、加藤厚生労働大臣に伺いたい。
- ・ 平成25年度労働時間等総合実態調査における裁量労働者制の労働者と一般労働者の労働時間のデータについて疑義が呈されて以降、厚生労働省はどのような精

査を行ったのか。

津村啓介君 (希望)

- ・ 一般労働者の労働時間に係る厚生労働省のデータは、調査対象となる労働者の抽出方法に問題があると考ええるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・ 小泉政権期のバス事業の規制緩和により、地方のバス路線の廃止が進んでいると考えるが、地域公共交通の維持についての安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 本年2月8日の本委員会において、林文部科学大臣は義務教育における保護者負担が過度なものとならないよう指針等を示すことを検討している旨答弁しているが、その後の検討状況を伺いたい。

後藤祐一君 (希望)

- ・ 労災認定を受けた事案以外の裁量労働制の労働者の過労死件数の把握状況について、厚生労働省に伺いたい。
- ・ 一般労働者の労働時間に係る厚生労働省のデータは、事業所から聴き取った時間外労働時間に8時間の法定労働時間を足して機械的に算出したものであるが、同データ以外に、実際の労働時間を調べた統計はあるのか。
- ・ 裁量労働制の拡大について議論する前に、裁量労働制の導入前後の労働者の労働時間等を調査する必要があると考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

原口一博君 (無会)

- ・ 労働規制は人間の尊厳と生命を守る社会的規制であり、緩和するのではなく強化しなければならないと考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・ 裁量労働制の労働者よりも一般労働者の労働時間が長いとしたデータの比較が不適切であることが判明してからも同様の国会答弁が続いた理由について伺いたい。

高橋千鶴子君 (共産)

- ・ 政府が提出を予定している働き方改革関連法案において、1カ月単位ではなく1週間単位の時間外労働の上限を盛り込むべきだと考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・ 特例の時間外労働の上限を法律に規定することで、過労死ラインとされる時間外労働が容認されてしまうことが懸念されるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。

串田誠一君（維新）

- ・月単位の時間外労働の上限設定は、中小企業の経営に支障をきたす恐れがあると考えるが、加藤厚生労働大臣の見解を伺いたい。
- ・過度な時間外労働の規制は、サービス残業やいわゆる名ばかり管理職を増加させると考えるが、労働時間の実態をどのように把握していくのか安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。